

# J A全中 Monthly Report

併せてJ A全中ホームページ (<http://www.zenchu-ja.or.jp/>) もご覧ください。

1  
月

## 中家会長 1月定例会見 会長からのメッセージ

中家会長は1月17日、理事会終了後、定例会見を行いました。「今年の最大の目標は、自己改革の完遂で、農協改革集中推進期間の期限は来年の5月ですが、スピード感を持って、可能な限り前倒しをして、今年いっぱい仕上げます。それくらいの思いで、全力を挙げて、取り組んでまいります」と、自己改革の完遂に強い決意を示し、冒頭のあいさつを述べました。

昨年12月、全国6ブロックに分けて、J A組合長、常勤役

員を対象にした「自己改革実践トップフォーラム」を開催しました。J Aの優良事例を紹介し、共有することで一段と自己改革に対する意識が高まり、非常に意義のあるものになりました。大事なことは、J Aグループ全体で危機意識を共有することです。私は全国どこにでも出かけて、改革への支援に取り組んでいきます。

自己改革の内容や成果が組合員に十分に伝わっていない課題があります。J Aの全役職員が

日常業務で組合員との接点を多く持って、自らの改革を伝え、行っていることを「見える化」することが大切です。組合員に評価をいただいて初めて自己改革ができたと言えるのです。

異常気象が常態化し、将来、人口増による世界的な食糧不足が懸念される中、「食」の現状が理解されていないことが気になります。農業者だけでなく、消費者も自らのこととして「食の問題」を議論することが大切だと強く思っています。

会長メッセージはJ Aグループのウェブサイト (<http://org.ja-group.jp/message>) に掲載しています。

## 第42回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール

1月13日、第42回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの表彰式を開催しました。「みんなのよい食プロジェクト」の一

環として、小・中学生から作品を募集し、作文5万4,115点、図画7万2,539点の応募がありました。

内閣総理大臣賞を受賞した吉中涼さんの作文などは、『月刊J A』のウェブサイトからもご覧いただけます。



作文の部で内閣総理大臣賞を受賞した吉中涼さん（奈良女子大学附属中学2年）と図画の部で内閣総理大臣賞を受賞した加藤ひろなさん（三重県鈴鹿市立白子中学3年）

## 中家会長の「ピンチをチャンスに」 『週刊新潮』で好評連載中

中家会長のコラム「ピンチをチャンスに」を『週刊新潮』に好評連載中です。1月は、第2回「本家の嫁はきりぎり舞い」（1月18日号）、第3回「今こそ、協同組合」（2月1日号）を掲載しました。2月は、2月8日、22日の発売号に掲載予定です。

中家会長が自身の生い立ちからJ Aの使命は農山村など地方を元気にすること、世界で評価されている協同組合、と縦横に語ります。これまでの掲載分は、『月刊J A』のウェブサイトからもご覧いただけます。

## テレビを活用した広報 企画 地上波2系列で 「特番」を放送

2月24日、BS朝日で林修さんが

出演する「特番」を予定していません。

これまでもJ A全国機関では、テレビを活用した広報企画を進めており、1月3日（TBS系列・8～9時）と26日（日本テレビ系列・19～21時）は、地上波で「特番」を放送。旬の農産物の産地を訪ね、生産者の創意工夫や努力を紹介し、J Aが日本農業の発展になくならない組織であることを伝えました。